

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2011.3.1 NO.60



「九条の会・流山」HP: <http://www.nagareyama9.org/>

メール: info@nagareyama9.org

昼間に変更

流山憲法集会

池田香代子さん講演会

5月14日(土)13:30開場 14:00開演
南流山センター ホール

先にお知らせしていた講演会は仮に確保していた生涯学習センターの夜の時間から、当初計画していた午後の時間の南流山センターに変更しました。

夜の時間は出にくいという声が多く、午後の南流山センターを3ヶ月前の申し込みで、首尾よく確保できたためです。

現在チラシやポスターを作製中です。

出演者募集中・

池田香代子さんの講演の当日(5/14)、プロローグとして「世界がもし100人の村だったら」をみんなで朗読します。あなたもぜひ。

別の日に一度事前の練習をする予定です。

(資料など連絡先 土屋 7103-2086)

リビアに戦火

チュニジアに始まった激動はエジプトのムバラク政権を倒し、さらに周辺に拡大しています。エジプトの政変の特徴としては軍が中立を保ったことだといわれています。たしかに軍の武力ではなく、民衆の力で政権が倒れたが、結局権力を握ったのは、とりあえず軍です。民主化が果たしてどのように進むのか、世界が注目しています。

40年余りも続いたリビアのカダフィ政権が反政府勢力によって包囲されていると伝えられます。

そしてここでは軍の働きがまた異なっています。政府軍の中からは寝返った部隊が続出しているようですが、カダフィ政権は徹底抗戦の姿勢と伝えられ、それを守る軍の親衛隊は他国から来ている傭兵部隊だといわれます。金目当ての雇い兵であるがゆえに、デモをする人々に情け容赦なく銃を向け、殺戮を重ねています。外国(人)軍の存在は他国との戦争の危険だけでなく、国民が自国の運命を自ら決め、変革することをも危険にさらすことになるという事実をはっきり示しています。

「九条の会」の活動は、侵略戦争に反対しているだけでなく、自国のあり方の自由な選択を国民に保障することでもあるのではないのでしょうか。

国連憲章

日本国憲法の平和主義は国連憲章にもその流れが次のように明記されています

第1条 国際連合の目的は国際の平和及び安全を維持すること。そのために、平和に対する脅威の防止及び除去と侵略行為その他の平和の破壊の鎮圧とのため有効な集団的措置をとること並びに平和を破壊するに至る虞のある国際的の紛争又は事態の調整または解決を平和的手段によって且つ正義及び国際法の原則に従って実現すること。(後略)

第2条 (前略)すべての加盟国は、その国際紛争を平和的手段によって国際の平和及び安全並びに正義を危うくしないように解決しなければならない。

すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない。

すべての加盟国は、国際連合がこの憲章に従ってとるいかなる行動についても国際連合にあらゆる援助を与え、且つ、国際連合の防止行動又は強制行動の対象となっているいかなる国に対しても援助の供与を慎まなければならない。(後略)

語り継ぎたい東京大空襲

亀戸の火の海を生き延びて・・・

それは想像もつかない恐怖と苦痛の時間だっただろう。焼け野原の中、Kさんは自宅へ向かうと、幸い母は無事だったが、親戚も亡くなり生き残った人々はわずかだった。車も救援もなく、Kさん親子は北小金の知り合いを頼って徒歩で行く。途中でせんべいをくれた人もいた。

その後各地を転々とするが、Kさんには山形に学童集団疎開した従兄弟がいて、その両親も亀戸で亡くなったので、山形に迎えに行く。迎えに来たのは、Kさんが一番だったという。他の子供たちは亀戸でかなり肉親をなくしているの、戦災孤児となる運命を背負わせられる。この従兄弟さんの両親の消息は、生き残りの人から聞いたのも、わずか2人だけで

「父は自警団で
消火活動をし、母
は亀戸駅に逃げた



らしい」ということだ。一夜にして家も家族もすべてを失い、亀戸に帰ることもできず、まさに（故郷喪失）となるわけだ。皮肉なことに学童疎開の文書から国は、焼失した住所だけは発行した。「日本の平和はこの人々の命の投資から生まれたのに、投資への補償も、利息すらも国はつけない。三月十日の東京大空襲の式典に役人は遺族の側に車を乗り付け、公文書を読みあげるだけ、もっと勉強してほしい。」という従兄弟さんの発言を私は重く受け止めた。戦争で犠牲になるのは名もなき庶民で、起こした国は責任をとらずにいる。このような国を憂う。

世界の飢餓人口 9億人

中東の独裁政権下での反乱の背景には支配階級の裕福さと民衆の飢餓があるとも指摘される。

国連食糧農業機関(FAO)と世界食糧計画(WFP)は、2010年の栄養不足の状態にある飢餓人口は、9億2500万人との予測を発表。ディウFAO事務局長は「栄養不足の子供が6秒に1人の割合で死んでいる。飢餓は最大の悲劇であり、容認できない」と語っている。

自衛隊広報センター見学有料化逆戻り

朝霞の自衛隊広報センターは九条の会でも見学しました。その後政府の事業仕分けで自衛隊の広報施設無料公開が問題にされ11月1日から有料化、入場料を徴収しました。ところがその結果、見学者が半減したため危機感をもち、つい先日2月にまた無料化へ、つまり国費でPR。ここにも迷走。

税金の無駄遣いだと思っても、自衛隊を国民にPRすることのほうが大事だということか。

あれから10年「えひめ丸」事件

2001年2月10日8時45分(日本時間)、アメリカ合衆国ハワイ州のオアフ島沖で、愛媛県立宇和島水産高等学校の練習船「えひめ丸」が浮上してきたアメリカ海軍の原子力潜水艦「グリーンビル」に衝突され沈没した。乗務員の35人のうち、えひめ丸に取り残された教員5人、生徒4人が死亡して、救出されたうち9人がPTSDと診断された。あれから10年です。

なぜ事件は起きたのか。乗組員や軍はさまざまな言い訳をしているようですが、当時、原子力潜水艦「グリーンビル」は海軍の「友の会」のような組織で招待した民間人の接待に懸命で、急浮上をして見せたりしてサービスに努めていたため注意が不十分だったともいう。そうしたお遊びの犠牲になったかのと遺族の方たちの悔しさはいっそう募ります。

外国に行って戦争をし、犠牲になることを国民に納得させる。そのための焦りがあらたな犠牲を生む。自衛隊無料見学の記事とともに考えさせられます。



沈没したえひめ丸

定例駅宣伝

3月は 9日(水) 15:30~16:30
流山おおたかの森駅

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山

このニュース配布に手を貸してください。